

障害者の生涯学習 -障害者支援-

- 1 現状と課題 人生100年時代を迎え、長い人生を充実させるために「生涯学習」の重要性は高まっている。しかしながら、【障害者の生涯学習】という面では、まだまだ課題や配慮しなければならないことが多い。そこで、障害のある方がどのような学び等を希望しているのかについて調査し、その学びを保障するためにどのような仕組みが必要なのか、その学びを支える支援体制をどのように構築していくか等、より具体的に障害者のための生涯学習について考え実行すべく、課題を設定した。
- 2 期待される効果 障害や障害者への理解を深めながら、特別支援学校を始め、様々な機関、団体と連携を強めながら、障害のある方の学びの場を提供・保障すると同時に、学びの場に携わる人材を育成することで、継続的な支援体制を構築する。

3 事業実践方法

(1) 概要(目的)

- 特別支援学校や福祉施設等と連携し、生涯学習、教育、スポーツ等様々な関係機関や団体による「障害者の生涯学習」に関する研修会、検討会を実施し障害者の多様な学びの場を創出する。
- 課題解決のために多様な研修を行うと同時に関係機関等との連携を深める。

(2) 対象者

- 特別支援学校、大学、福祉関連団体

(3) 委員の構成(所属)

所属	所属
茨城県立土浦特別支援学校	茨城県立美浦特別支援学校
茨城県立つくば特別支援学校	茨城県立石岡特別支援学校
茨城県立伊奈特別支援学校	茨城県立霞ヶ浦聾学校
茨城県障害者スポーツ・文化協会	茨城県パラスポーツ指導者協議会
筑波技術大学	

(4) 具体的な取組について

【令和6年度】

- ① 会議・交流会(議)等(※仕様書：事業実施方法 ア)
- ② 研修・ワークショップ・講座等(※仕様書：事業実施方法 イ、ウ)

期日	内容	対象者※3
令和6年 6月～7月	「学童期における発達障害の理解と支援」 講座 5回	県民 60名

③ 実践

期日	内容	対象者
令和6年 6月	県南地区特別支援学校訪問(3校) ・障害者の生涯学習に向けて ・障害者の活躍の場に向けて	土浦特別支援学校 美浦特別支援学校 伊奈特別支援学校
7月23日(火)～ 7月28日(日)	特別支援学校児童生徒作品展	土浦特別支援学校 美浦特別支援学校 伊奈特別支援学校 一般参加者
7月28日(日)	つちうらであそばまなぼ 障害者スポーツ体験教室	土浦特別支援学校 美浦特別支援学校 伊奈特別支援学校 一般参加者
8月1日(木)	筑波技術大学訪問 ・障害者の生涯学習について ・点字教室実施に向けて	筑波技術大学
9月	県南地区特別支援学校訪問(3校) ・障害者の生涯学習に向けて ・障害者の活躍の場に向けて	つくば特別支援学校 石岡特別支援学校 霞ヶ浦聾学校
11月19日(火) ～ 11月24日(日)	特別支援学校児童生徒作品展	土浦特別支援学校 美浦特別支援学校 伊奈特別支援学校 つくば特別支援学校 石岡特別支援学校 霞ヶ浦聾学校 一般参加者
11月24日(日)	つちうらであそぼ・まなぼ 特別支援学校児童生徒作品の販売 障害者スポーツ体験教室 点字教室	土浦特別支援学校 美浦特別支援学校 伊奈特別支援学校 つくば特別支援学校 石岡特別支援学校 霞ヶ浦聾学校 筑波技術大学 一般参加者



【障害者スポーツ体験教室】



【障害者スポーツ体験教室】



【視覚障害についての研修会】



【令和7年度】

① 会議・交流会（議）等

期日	内容	対象者
令和7年 4月29日(火) 7月3日(木) 8月28日(木) 10月9日(木) 12月12日(金)	意見交換会 視覚障害者対応のための方策について 出展者の皆様へのお願い イベント全体を通しての感想など	つちうらであそぼ・まなぼ出展団体等 (株)アトレ、木村大 Music.Lab.(キムラボ)、JR 東日本水戸支社土浦統括センター、水郷つくば農業協同組合、J R貨物土浦、モール 505 事務局、Card Shop SAKURA、防衛省土浦地域事務所、土浦市立図書館 土浦祭囃子会、東部ガス、日立セメント、英語発音体操、こころがはずむピアノの会、キネシオテーピング学習会、クリエイトキッズ、つくばユナイテッド SunGAIA、 土浦三高、霞ヶ浦高等学校、ウッドワークス、つくばFC、土浦市障害福祉課、土浦市子ども未来部子ども包括支援課、土浦市子ども未来部子ども政策課、県障害者スポーツ指導者協議会、県南教育事務所、土浦わかもののまちプロジェクト、合同会社 Will Shine、筑波技術大学 等
令和8年 2月5日(木) 3月12日(木)		

② 研修・ワークショップ・講座等

期日	内容	対象者※ ³
令和7年 6月～ 7月	「学童期における発達障害の理解と支援」 講座 5回	県民 63名
令和7年 10月～ 11月	「思春期における発達障害の理解と支援」 講座 5回	県民 66名

③ 実践

期日	内容	対象者
令和7年 7月19日(土) ～ 7月27日(日)	特別支援学校児童生徒作品展	土浦特別支援学校 美浦特別支援学校 伊奈特別支援学校 石岡特別支援学校 つくば特別支援学校 霞ヶ浦聾学校 一般参加者
7月27日(日)	つちうらであそぼ・まなぼ vol.10 障害者スポーツ体験教室 点字・手話体験教室	土浦特別支援学校 美浦特別支援学校 伊奈特別支援学校 石岡特別支援学校 つくば特別支援学校 霞ヶ浦聾学校 茨城県障害者スポーツ・文化協会 茨城県パラスポーツ指導者協議会 筑波技術大学 一般参加者
11月15日(土) ～ 11月23日(日)	特別支援学校児童生徒作品展	土浦特別支援学校 美浦特別支援学校 伊奈特別支援学校 つくば特別支援学校 石岡特別支援学校 霞ヶ浦聾学校 一般参加者
11月23日(日)	つちうらであそぼ・まなぼ Vol.11 特別支援学校児童生徒作品の販売 障害者スポーツ体験教室 点字・手話体験教室 eスポーツ体験教室	土浦特別支援学校 美浦特別支援学校 伊奈特別支援学校 つくば特別支援学校 石岡特別支援学校 霞ヶ浦聾学校 筑波技術大学 一般参加者



【点字体験教室】



【特別支援学校作品展】



【eスポーツ体験教室】



【障害者スポーツ体験教室】



【発達障害の理解と支援講座】



【誰もが持とう ボランティアマインド】聴覚障害



【誰もが持とう ボランティアマインド】車いす体験

【聴覚障害に関する研修会】意見交換会

<今後の改善点>

- 1 関係各機関や団体との連携強化、障害者の生涯学習に関するニーズの把握
 - ・ 障害者支援を目指し、障害者の生涯学習におけるニーズを把握するため、県南地区の特別支援学校を訪問し、希望する講座を実施できるよう準備を進めていきたい。
 - ・ センターとして学校に対しどのような事業展開及び講座等が設定できるかが分かる資料の要望があった。来年度に向けて準備していきたい。
- 2 障害者の活躍の場の提供及び障害に関する理解促進
 - ・ 7月と11月の「つちうらであそぼ・まなぼ」において障害者への理解を深める機会を広げるとともに、障害者が活躍できる場の拡大を図りたい。
 - ・ 作品展において生徒による物販が行われ、積極的に取り組んでいる姿が見られた。
 - ・ 作品展に向け学校行事との関係もあり、作品制作及び作品選定に一定程度の準備期間が必要であるとの要望を受けた。日程について、早めの周知できるよう改善したい。
 - ・ 茨城県障害者スポーツ・文化協会と連携し、障害者スポーツ体験教室を実施した。多くの参加者に交じり、

車いす利用者の参加があった。活動できる場が多くあるとよいとの意見があった。障害者の活動・活躍の場を増やすためにも、関係機関と連携し体験教室等の実施機会を増やしていきたい。

4 プログラム全体の検証

(1) 事業相互の関連・成果

- ① 現代的課題対策講座「学童期における発達障害の理解と支援」及び「思春期における発達障害の理解と支援」を関連させ、いろいろな立場の講師より障害における理解及び支援についての講座を開催した。どちらの講座も定員を大きく超える応募があり、関心の高さを示すとともに、講義を通し障害に関する理解促進に繋がった。
- ② 7月と11月の「つちうらであそぼ・まなぼ」において児童生徒作品展を開催し、障害者の理解の場を増やすとともに、障害者の活躍の場を広げた。また、その際生徒による物販やイベントブースの運営（eスポーツ体験教室）が行われ、イベントに積極的に参加するだけでなく、ボランティア活動への興味関心を深めている様子が見られたことで、社会参加の一つの場の提供につながった。

(2) 今後の展望

- ・センターとして障害者に対し、どのような事業展開及び講座等が設定できるかさらに検討していきたい。
- ・障害者の活動・活躍の場を増やすためにも、関係機関と連携し体験教室等の実施機会を増やしていきたい。